

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立東小橋小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東成区
学 校 名	大阪市立東小橋小学校
学 校 長 名	川口 淳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立東小橋小学校では、第6学年 14名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立東小橋小学校の結果概要

国語・算数の平均正答率は、全国・大阪市の平均正答率とともに上回っており、各教科の内容についても概ね良好な結果となった。また、国語・算数ともに無解答率が0%であり、最後まで粘り強く問題に取り組む姿勢が見られた。

一方で、複数の情報を整理・比較し、関係付けて考えたり、自分の考えや理由を説明したりすることに課題が見られた。今後は、これまでの対話的な学びを大切にしながら、情報を関連付けて考え、根拠をもって表現する力の育成に取り組んでいく。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

国語の平均正答率は74.0%で、全国平均を13.1ポイント上回った。学習指導要領の内容別に見ても、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の**すべてにおいて全国平均を上回っており**、基礎的な知識・技能だけでなく、**文章を読み取り、自分の考えを表現する力**も身に付いていることが分かった。

特に、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめて書く問題では、正答率が100%であった。また、文章を引用し、自分の考えが伝わるように書き表す問題でも高い正答率が見られた。これまでの授業において、**自分の考えをもち、根拠を明確にして表現する活動を大切に**してきた成果が表れていると考えられる。

一方で、複数の情報を関連付けたり、必要な情報を見付けたりする問題では、正答率が相対的に低いものも見られた。今後は、複数の資料や文章から必要な情報を取り出し、それらの関係を整理・比較した上で、自分の考えを形成する学習をさらに充実させる必要がある。

【算数】

算数の平均正答率は69.0%で、全国平均を12.6ポイント上回った。「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の**すべての領域で全国平均を上回っており**、学習内容が全体として身に付いていることが分かった。

特に、**基本的な計算や数量関係に関する問題では高い正答率**が見られ、小数や分数、割合などについて、既習事項を活用して問題を解決する力が身に付いている。

一方で、二次元の表から条件に合う数を読み取る問題や、単位量当たりの大きさ、割合を図で表す問題などでは、正答率が相対的に低かった。単に計算するだけでなく、問題場面から**必要な情報を整理し、数量の関係を捉え、その理由や考え方を説明する力をさらに伸ばしていく必要がある**。

質問調査より

児童質問調査からは、「学校に行くのは楽しい」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「先生は分かるまで教えてくれている」など、**学校生活や授業に対して肯定的に捉えている児童が多い**ことが分かった。また、友達の考えを大切にしながら協力して学習したり、分からないことがあったときに自分で学び方を考えたりする姿も見られる。

こうした結果から、**児童が安心して自分の考えを表現し、友達と考えを交流しながら学ぶことのできる学習環境**が形成されていると考えられる。特に、国語・算数において「自分の考えを説明する活動」を多く経験していることは、今回の教科に関する調査における表現力の高さとも関連していると考えられる。

一方で、**スマートフォン等の使用時間や朝食摂取など、生活習慣については**、今後も**家庭と連携しながら**、児童自身がよりよい生活習慣について考えることができるよう働きかけていく必要がある。

今後の取組（アクションプラン）

本校では、これまで大切にしてきた「**自分の考えをもち、友達と交流しながら学びを深める授業**」を継続するとともに、今後は特に「**情報を整理・比較し、関係付けて考える力**」の育成を重点的に進める。

具体的には、国語や算数だけでなく各教科の授業において、複数の資料や情報から必要なものを選択したり、共通点や相違点を比較したり、情報同士の関係を図や表に整理したりする活動を意図的に取り入れる。また、「なぜそう考えたのか」「どの情報を根拠にしたのか」を説明する場面を設定し、考えを形成する過程を大切にしたい授業改善を進める。

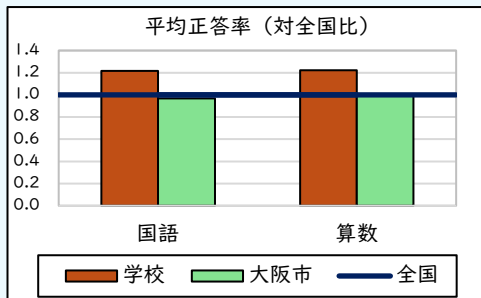
さらに、**児童同士が互いの考えを認め合い、安心して意見を表現できる学級づくり**を継続するとともに、児童が自分の学習状況を振り返り、次の学習に生かすことのできる学習活動を充実させる。

これらの取組を学校全体で共有し、日々の授業改善につなげることで、**基礎的・基本的な学力の定着に加え、情報を活用して自ら考え、判断し、表現する力のさらなる育成**をめざす。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

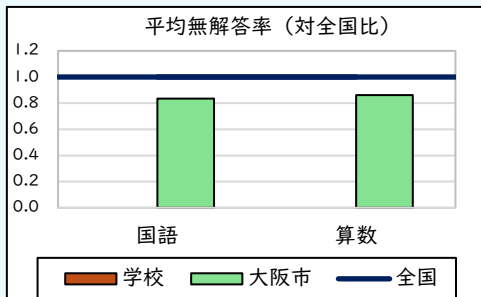
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	74	69
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



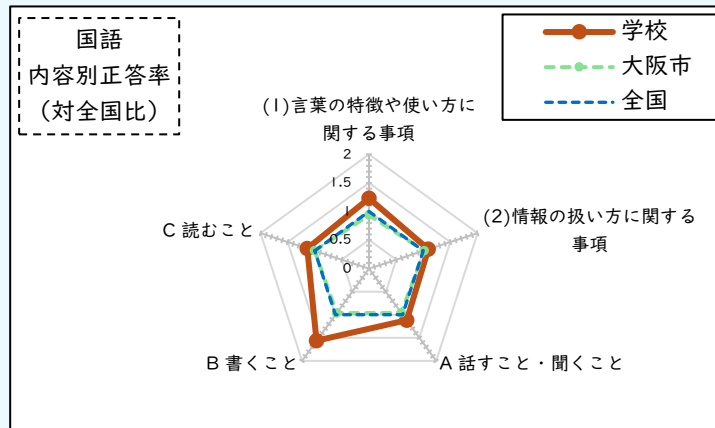
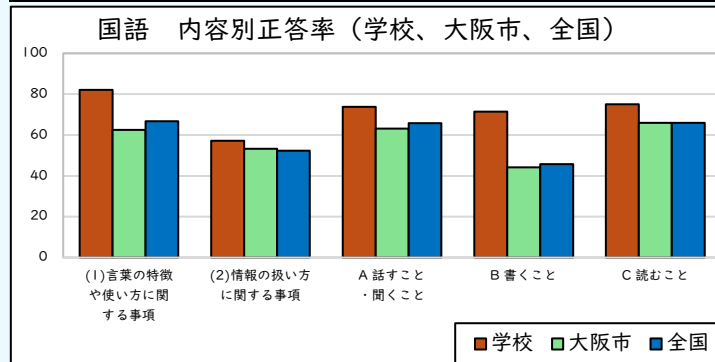
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.0	0.0
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



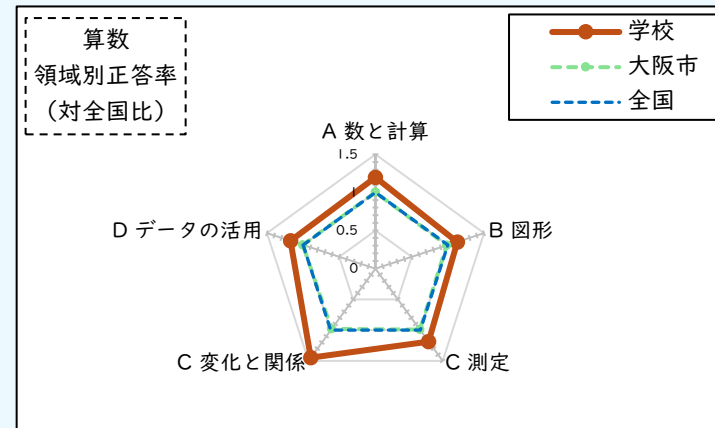
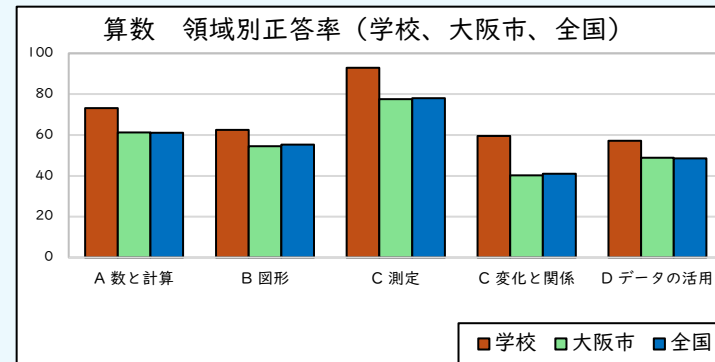
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	82.1	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	57.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	73.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	71.4	44.2	45.7
C 読むこと	2	75.0	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	73.2	61.2	61.1
B 図形	4	62.5	54.5	55.3
C 測定	1	92.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	59.5	40.3	41.1
D データの活用	4	57.1	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

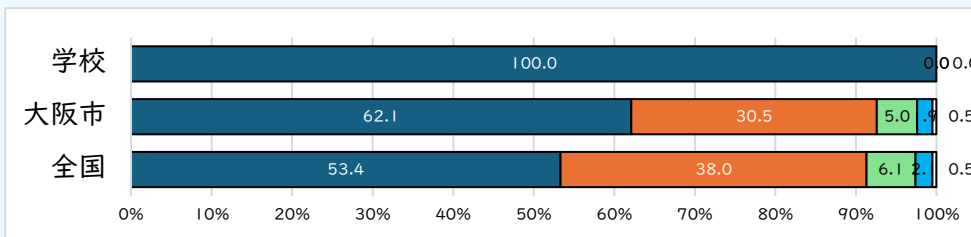
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

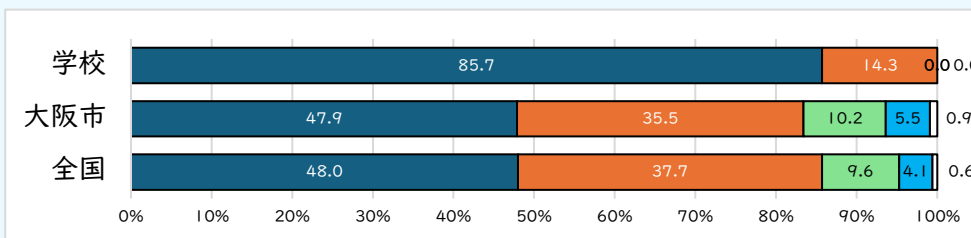
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
-----	------------------------------



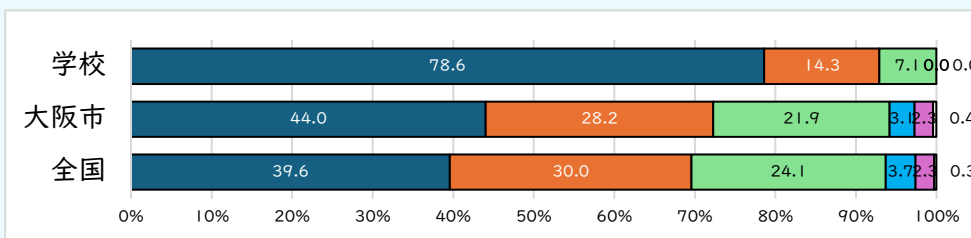
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



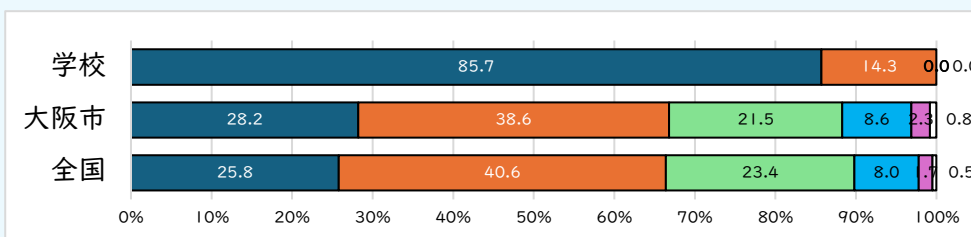
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
------	----------------------------------



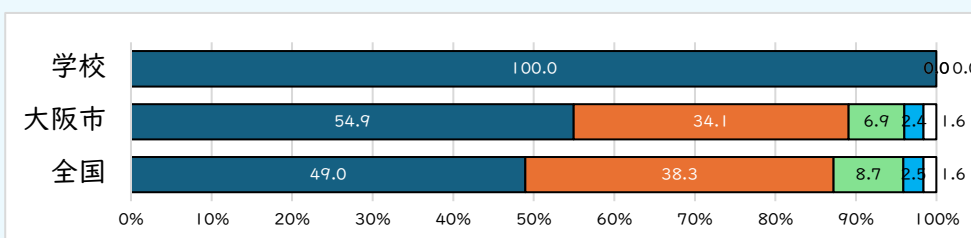
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 どちらかといえば、当てはまらない
- 5 当てはまらない

(38)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
------	--



- 1 発表していた
- 2 どちらかといえば、発表していた
- 3 どちらかといえば、発表していなかった
- 4 発表していなかった
- 5 考えを発表する機会 was なかった

(45)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
------	--



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

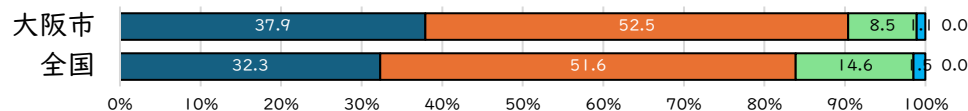
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

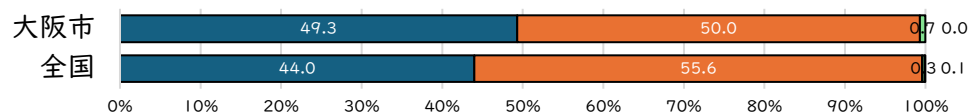


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

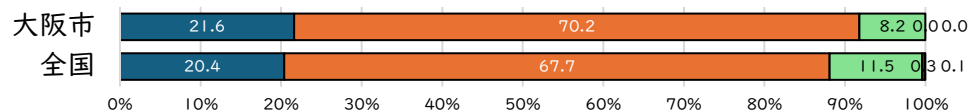


- 1 十分に取り入れている
- 2 一部取り入れている
- 3 全く取り入っていない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

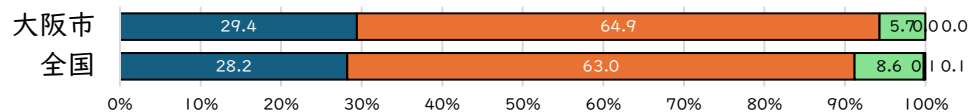


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(31)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じた、学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 1 よく行った

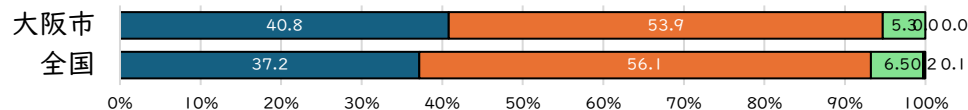


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 1 当てはまる



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない